

【初回】XELOX+ピロイ(800mg/m²)療法

【外科】267【胃癌】
(第 コース目)

*網かけ部分は必須記入事項

診療科:	病棟:
医師名:	印

身長:	cm	体重:	kg
体表面積:	m ²	Cr:	mg/dL

■レジメン 下記が1コースの投与スケジュール : 3週ごとを1コースとする

Day	1	8	15	~21
施行日	/	/	/	/
ピロイ	↓	休薬	休薬	休薬
エルプラット	↓	休薬	休薬	休薬
ゼローダ	経口: Day1(夕)~Day15(朝)			

■投与順序 ※マークは同タイミング投与薬あり

滴下順		
①		アロカリス注235mg 1V パロノセトロン注0.75mg 1V デキサート注1.65mg 2A デキサート注6.6mg 1V ポララミン注5mg 1A 生食 100mL 30分
②		生食 50mL 10分
③		●ピロイ注【 】mg 注射用水 mL 生食 mL (total 600mL) 投与速度は「■注意事項」参照
④		生食 50mL 10分
⑤		●エルプラット注【 】mg 5%ブドウ糖 500mL デキサート注1.65mg 1A 2時間
⑥		生食 50mL 10分 フラッシュ

■投与量 ※投与量の参考

薬剤名	標準投与量	
ピロイ(初回)	800 mg/m ²	mg/Body
ピロイ(2回目以降)	600 mg/m ²	mg/Body
エルプラット注	130 mg/m ²	mg/Body
ゼローダ錠	2000 mg/m ² /分2	mg/Body

入力 薬剤師	看護師	看護師

※ゼローダ錠は2週間連日投与後、1週間休薬。

■注意・確認事項

- 点滴セットはフィルター付き輸液ルートを使用すること。
- エルプラット注は塩化物・塩基性溶液との混和は不可。
- ピロイは調製後6時間以内に投与終了すること。

《ピロイの投与速度》

- 患者の忍容性が良好な場合には、30分後・60分後に降徐々に投与速度を上げることができる。
50mL/hrで開始 ⇒ 30分後 100mL/hr ⇒ 60分後 200mL/hrへ
- Grade2以上の悪心・嘔吐が発現した場合は30分間投与を中断し、回復後、流速を半分の速度に落として再開できる。

○デカドロン錠8mg(内服オーダ)はday2,3,4に投与する。

○糖尿病でないことを確認し、必要に応じてジプレキサ錠5mg(内服オーダ)をday1,2,3,4に投与する。